

第1学年 国語科学習指導案

平成28年6月29日(水) 第5校時
1学級6名(男子5名・女子1名)

第1学年

本単元でつきたい力

- ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと

【B 書くこと(1)ウ】

単元を貫く言語活動

- ・学校で経験したことを家の人に報告する文章を書くこと

【B 書くこと(2)イ】

1 単元名 「こんなことをしたよ」【東書 1年 上】

2 単元について

本単元で初めて、一つの題材についてひとまとまりの文章を書く。主語と述語の続き方や文と文とのつながりに注意して書く力をつけることをねらいとしている。これは、次の学習する「えにつきをかこう」や9月に学習する「おもいだしてかこう」(会話を取り入れて思い出を文章に書く)につながるものである。教科書の二つの例文を参考に、相手意識(誰に書くのか)、目的意識(何のことを書くのか)をはっきりさせて、表現の基礎となる力を育てたい。

児童はこれまでに、ひらがなの習得を中心に書く学習を行ってきた。就学前にひらがなをある程度身につけてきた児童もいるが、4月から始める児童もいた。学習規律がつきにくい状態もあり、ひととおりひらがなを終えても使いこなせるまでには、まだ時間がかかりそうである。また、「長音」「促音」「撥音」などの表記についても、同様である。文を書くことについては、6月中旬に「ぶんをかこう」の学習で、主語と述語をつないで文を作る学習をした。本単元は、「題材を見つける」「内容を思い出す(お話をする)」「文章に書く」の手順で学習するが、この過程のどこかで抵抗を感じる児童もいるであろう。話す・書く・聞くことに意欲や興味を持たせるには、どのように題材を提示し、活動させるかが課題である。

そこで、指導にあたって、次のような点に留意し学習を進めたい。

- ① 知らせたいできごとを「プールでおよいだこと」に限定し、その中から特におもしろかったことを選んで書くようにする。また、だれに知らせたいのかを決めて、目的意識をもたせる。
- ② 決めたことがらについて、回りにいる先生に聞いていただく。
- ③ 文章を書いたけんたさんやゆみさんの文章の書き方のよいところを見つけて、児童の文章のヒントにする。
- ④ ひらがなを覚えていない児童には、ひらがなの一覧表をいつでも見てよいことにする。また、書くことに抵抗が強い児童には、聞き書きをして書き写すようにする。
- ⑤ できあがったら、みんなで読み合う。さらに、家の人に届けて感想を書いてもらい、今後の学習の励みになるようにする。

3 単元の目標と評価規準

第1学年		
○経験したことについて、つながりのある文章を書くことができる。		
国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・学校で経験したことを文章に書いて、家の人に知らせるという活動に、意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活で経験したことから、家の人に知らせたいことを選んでいる。 【B(1)ア】 ・主語と述語の続き方や文と文とのつながりに注意しながら、文章を書いている。 【B(1)ウ】 ・書いた文章を読み返し、間違いなどを見つけている。 【B(1)エ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語の照応に気をつけて、文章を書いている。 【(1)イ(カ)】

4 単元の指導計画【1学年】(全4時間)

次	時	学習活動	評価規準			評価方法	
			関	書	言		
一	1 (本時)	○「プールでしたこと」の中の何を書くか、だれに知らせるのかを決めて、話す。	◎			・「プールでしたこと」の中の何を書くか、だれに知らせるのかを決めて、話している。	発言
二	2	○例文から、書くときに気をつけることを知る。		◎	○	・主語と述語の書き方や文と文とのつながりに注意しながら、文章を書いている。	発言 ワークシート
	3	○選んだ出来事について、先生に話したことを文章に書く。				・書いた文章を読み返し、間違いなどを正そうとしている。	
三	4	○学習のまとめをする。 ・書いた文章を読み合い、感想を伝える。 ・家の人に渡す準備をする。	◎			・書いた文章を読み合い、感想を伝えている。	発言

5 本時の学習

(1) 目標

- ・プールでしたことの中から、どんなことをお家の誰に知らせたいかを考えることができる。

(2) 評価規準

- 関**・プールでしたことの中からどんなことを、家の誰に知らせたいかを決めて、話している。

(3) 準備物

- ・プールの写真 プールのことを書いた文章 けんたさんの文章 挿絵 (ワークシート)

(4) 展開	
学習活動 (☆評価, ◎教師の支援)	
<p>1 前日にプールでして、おもしろかったこと4つの場面を想起させて、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>◎思い出したことに関連する写真を提示し、みんながわかるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おにごっこをしたこと ・じゃんけんをしたこと ・わくぐりをしたこと ・じゃんぷをしたこと <p>◎プールでしたことが決まったら、後で先生にお話を聞いてもらうことを予告しておく。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">いえのひとに、プールでしたことのなかから、しらせたいことをかんがえよう。</div>	
<p>2 プールについて、書いた文章を読み、イメージをもつ。</p>	<p>◎指導者が書いた文章を提示し、プールでしたことを知らせる文章をイメージさせる。</p>
<p>3 けんたさんの文章を読み、書かれた内容を確かめる。</p>	<p>◎けんたさんの文章や挿絵を提示し、書いた内容や、けんたさんの文章のよいところに気づかせる。</p>
<p>4 文章を書くために、2つのことを決めて、先生に話を聞いてもらう。</p>	<p>◎お家の誰に知らせたいか、どの場面のことを知らせたいかの2つを考えるよう指示する。</p> <p>◎することの順番を書いておく。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>①どのことを書くか。</p> <p>②お家の誰に聞いてもらうか。</p> <p>③先生にお話する。</p> </div>	<p>☆プールでしたことの中からどんなことを、家の誰に知らせたいかを決めて、話している。 (発言)</p>
<p>5 次時の学習を知り、ふり返りをする。</p>	<p>◎どのことを選んだのかを確認し、評価する。</p>

6 成果と課題

～子どもと教材をつなぐ～

- ◎教材が、この時期の児童にとってタイムリーなものであった。
- ◎写真、ワークシート、作文の例文など、準備物が整っていた。
- ◎プールの写真ややることリスト①～③など、視覚化されて学習のヒントや見通しとして活かされた。
- ◎「プールでしたこと」という共通課題を設定し、「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」かを一緒に考えていけたので、子どもたちは取り組みやすくなった。
- ワークシートがまず目にしていて。罫線を使ったものになると、もっとかきやすかったと思う。
- 本時のめあては、「お話すること」であったので、終末は書かせるのではなく、段階を踏み「いつ」「どこで」「一番おもしろかったのは」「わけは」…と、話す順序を意識させた話し方を充実させていけばよかった。
- 児童の見通しが持てるように、授業シラバスを提示しなければならなかった。

～子どもと子どもをつなぐ～

- ◎現段階では子どもどうしの学びあいが難しいと判断し、参観者をお願いして子どもたちが話すのを聞いていただいた。参観者から温かい声をかけていただくことで、児童の学習意欲が高まった。
- 児童の実態として今の段階でペア学習は難しいが、書いた文章を紹介し合ったり、家の方から感想をいただいたりして、書いてよかったと思えるようにしていきたい。また、2学期以降、ペアや班学習ができるように指導していきたい。

